〈人〉車　道路

４月の安全運転のポイント　平成29年4月号

警察庁の発表によると、平成28年の交通事故による死者数は3,904人で、昭和24年以来67年ぶりの3,000人台となりました。そこで平成28年の交通死亡事故の主な特徴をまとめてみました。（資料は、警察庁「平成28年中の交通死亡事故の発生状況及び道路交通法違反取締り状況等について」による）

平成28年の交通事故発生状況

発生件数*	499,201件	（前年比－37,698件	－7.0%）
死者数*	3,904人	（前年比 －213人	－5.2%）
負傷者数	618,853人	（前年比－47,170人	－7.1%）

＊発生件数とは、人身事故件数をいい、物損事故は含まれません。
＊死者数とは、交通事故発生から24時間以内に死亡した人数をいいます。

交通事故死者の過半数は65歳以上の高齢者

年齢層別に死者数をみると、65歳以上の高齢者が2,138人で（図１）、全死者数に占める割合は過去最高の54.8%となりました。

65歳以上の高齢者の死者数を状態別にみると、歩行中が1,003人（46.9%）、自動車乗車中が643人（30.1%）、自転車乗用中が342人（16.0%）、二輪車乗車中が142人（6.6%）となっています（図２）。前年に比べると、歩行中や自転車、二輪車乗用中は減少していますが、自動車乗車中は増加しています。歩行中の高齢者だけでなく、高齢運転者標識を付けた車にも十分に目を配りましょう。

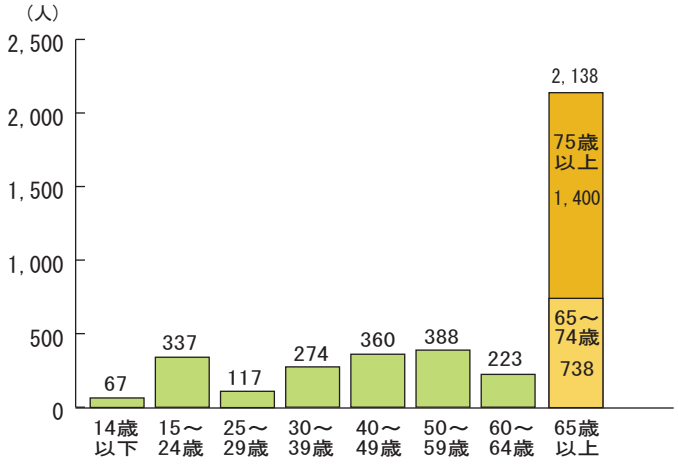


図１　年齢層別死者数（平成28年）

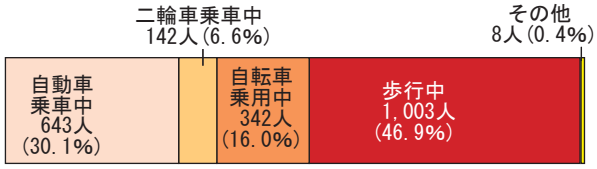


図２　65歳以上の状態別死者数（平成28年）

横断中の死亡事故が全体の４分の１を占める

死亡事故件数を事故類型別にみると、車両相互が1,445件（38.1%）、人対車両が1,303件（34.4%）、車両単独が985件（26.0%）となっています（図３）。

最も多く発生しているのは、人対車両の「横断中」の940件（24.8%）で、警察庁の分析によれば、横断中の死亡事故は、歩行者が左から進行してくる車と衝突する場合が多く、夜間はさらにその傾向が高まるということです。道路の右側の状況にもよく注意して走行しましょう。

車両相互では、「出会い頭衝突」が490件で最も多くなっています。警察庁の分析によれば、自転車とその左から進行してくる車との事故が多いそうですから、見通しの悪い交差点の多い住宅街などを走行するときは、十分に注意しましょう。

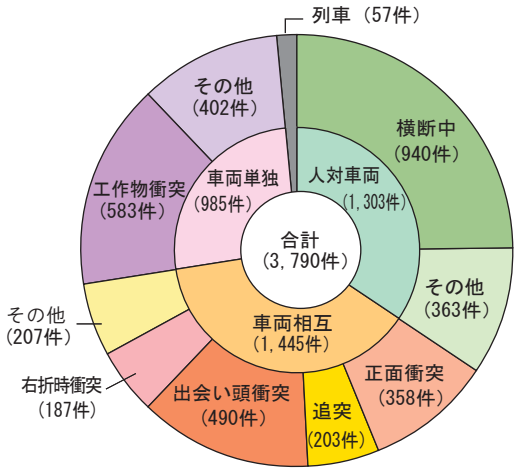


図３　事故類型別死亡事故件数（平成28年）

MS&AD 三井住友海上

死亡事故の半数近くは交差点とその付近で発生している

死亡事故件数を道路形状別にみると、交差点内が1,278件で最も多く、交差点付近と合わせると1,757件となり全体の46.4%を占めています(図４)。

右左折するときは徐行する、黄信号では原則として停止する、信号機のない交差点では左右の安全確認を確実に行うなどの交通ルールと安全運転の基本を守るとともに、他車や自転車、歩行者の動きに十分目を配りましょう。また、交差点付近では特に横断歩行者に注意しましょう。

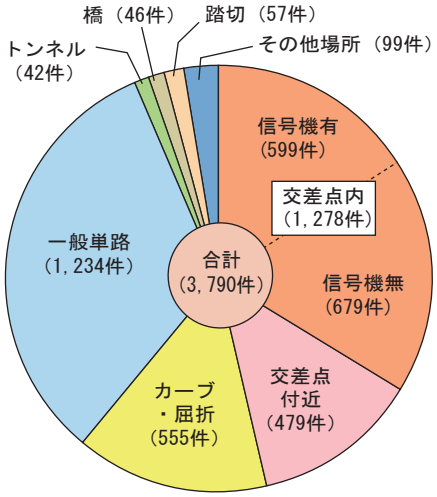


図４　道路形状別死亡事故件数(平成28年)

「漫然運転」に次いで、「運転操作不適」が二番目に多い

原付以上の運転者が第１当事者となった死亡事故件数を法令違反別にみると、「漫然運転」が593件（17.4%）で最も多く、次いで「運転操作不適」429件（12.6%）「脇見運転」412件（12.1%）となっています（図５）。ここ数年は、「漫然運転」、「脇見運転」、「運転操作不適」の順でしたが、平成28年は「運転操作不適」が二番目に多くなりました。

「運転操作不適」とは、ハンドルやブレーキなどの不適切な操作や、アクセルとブレーキの踏み間違いなどをいいますが、あわてたときやパニックに陥ったときに操作を誤りやすいといわれています。交通環境は絶えず変化していますから、油断せず常に周囲の状況に目を配るとともに、スピードを控えめにする、車間距離を十分にとるなどして、状況の変化にもあわてることなく落ち着いて対応できる運転を心がけましょう。

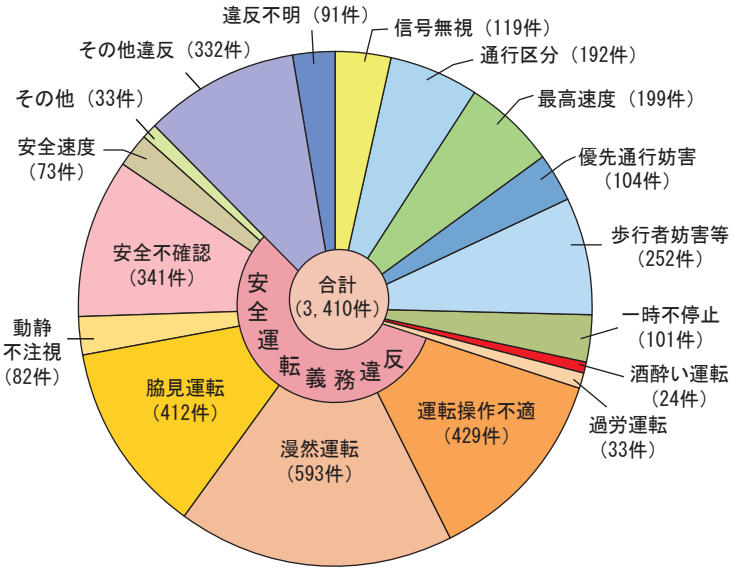
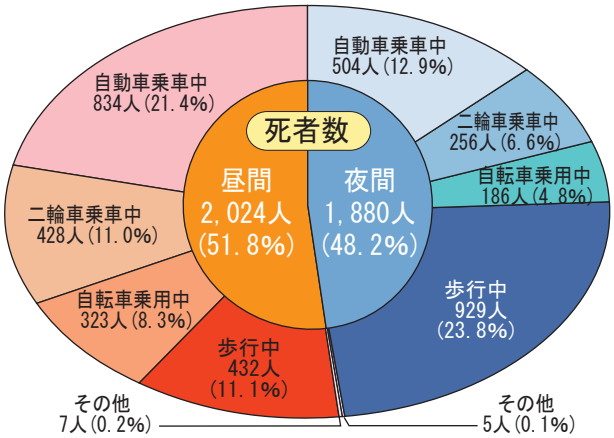


図５　原付以上運転者(第１当事者)の法令違反別死亡事故件数(平成28年)

昼間は自動車乗車中、夜間は歩行中の死者数が多い

死亡事故死者数を昼夜別にみると、昼間が2,024人（51.8%）、夜間は1,880人（48.2%）で夜間より昼間のほうが多くなっています(図６)。

状態別に昼夜の死者数をみると、昼間は自動車乗車中が多いのに対して、夜間は歩行中が多く、全死者数のほぼ４分の１を占めています。夜間は歩行者の発見が遅れやすいので、スピードを落とすとともに、ヘッドライトは原則上向きにするなどして、歩行者の早めの発見に努めましょう。



※「昼間」とは日の出から日没まで、「夜間」とは日没から日の出までをいいます。

図６　昼夜別・状態別の死者数(平成28年)

「ご相談・お申込先」
株式会社アサヒ　ファシリティズ　東京都江東区南砂2丁目5番14号
北海道　011-231-3332
東北　022-211-1631
東京　03-5683-1184
名古屋　052-231-8824
大阪　06-6201-8663
広島　082-222-7500
九州　092-441-3768

※イラストの二次利用はご遠慮願います

〔制作〕株式会社インターリスク総研　交通リスクマネジメント部　交通リスク第一グループ